

地球温暖化対応産地構造改革モデル事業 平成21年度取組状況

A: 長期的対策

大分類	中分類	小分類	(実施担当課)	20年度の成果	21年度の具体的な成果目標	21年度実績
調査・分析プロジェクト	影響調査	温暖化シミュレーション委託	(農政企画課)	宮崎県版の温暖化シミュレーションを実施	宮崎県の気象変動に関する基礎データの分析(継続) 宮崎県における農作物等への地球温暖化の影響予測(新規)	気象専門コンサルタントへ委託調査(委託先:メテオエム)
	現地調査	概況予備調査 品目別調査	(営農支援課) (水産政策課)	近年の温暖化による農水産業への影響を把握 (水産政策課分は20年度で終了)	品目別調査(営農支援課) 昨年同様、主要品目における影響調査を実施(継続)	主要品目の影響調査(広域担当を中心に)を実施 22年度は対応策を取りまとめる予定
	藻場調査	現況調査委託	(漁港漁場整備課)	県北部・県南部藻場の繁茂状況を把握	県中部の主要構成種・水深・最大被度・底質の現地調査及び解析 航空写真で確認できない深所藻場の潜水調査・解析 県内藻場の鉛直分布(水深毎の主要構成種・底質・最大被度)を把握するための測線調査	県中部暫定藻場について整理解析を実施 未確認藻場の目視補完調査(26箇所)及びライン調査(22測線)については、6月5~9, 10~14日に実施済
	情報収集	-	(総合農業試験場)	温暖化情報の収集とH.P.によるデータベース化	温暖化研究情報等の収集(継続) 全国の研究課題、研究者等の収集 温暖化研究情報の分析(継続) 収集した情報を分類し、体系化を行う	継続して情報収集を実施中
技術開発プロジェクト	研究課題の公募	研究課題の選定	(農政企画課)	民間・大学からの温暖化研究2課題を採択	20年度に公募した課題を継続して実施(継続) 対象は、八洋エンジニアリング株式会社(ヒートポンプ)、 宮崎大学農学部(水産)	夏場のヒートポンプ利用実証。冬場の再試行試験 水産養殖への影響(特に新しい疾病対策)、ウシエビの開発の試み、温暖化による日向灘の魚類資源の変化と影響、および対処を継続実施
		【施設園芸プロジェクト】	(農産園芸課)	木質ペレット暖房機の普及に向けた検討	木質ペレット加温機の燃料供給体制の検討(継続)	木質ペレット加温機とヒートポンプの普及への道筋をつけた。 本プロジェクトは、公募研究課題審査会の検討を受けた新たな機器や現地導入分(ヒートポンプ、木質ペレット加温機、電気ヒーター)、実証中の畜糞ペレット加温機の情報交換を行う。
		【バイオマス利活用プロジェクト】	(畜産課)	畜糞ペレット暖房機の実証試験を実施	畜糞ペレット暖房機の開発・普及(継続)	畜糞ペレット暖房機の排ガス測定実施 昨年同様2カ所で実証(都城市、バイオテクセンター)
	産学官連携技術の開発・実施	【エネルギー作物プロジェクト】	(地域農業推進課)	ナタネ・ヒマワリの品種比較及び作型実証、ナンヨウアブラギリ適性試験の実施	ナタネ、ヒマワリの油糧作物としての利用(継続) ナンヨウアブラギリの耐寒性の確認(継続) 乾燥搾油体系の検討(継続) 飼料適性試験(継続) 燃焼実験(継続) プロジェクト活動(継続)	ナタネ、ヒマワリの油糧作物としての利用 ・ナタネ(0.4a)、ヒマワリ(0.3ha)品種選定展示ほ設置 ・水稲転作型(0.3a)(ナタネ+ヒマワリ、ヒマワリ連作) ・早期水稲後作型(0.9a)(早期水稲+ヒマワリ) ナンヨウアブラギリの油糧作物としての利用 (基礎研究(宮崎大学との共同研究)) 昨年度選抜した1系統を自家採種・選抜。アレロパシー効果を継続確認。シカへの忌避効果の確認。 (平坦地から中山間地での耐寒性等現地実証) 県内12ヶ所(東臼杵5、児湯3、南那珂1、農試3支場) 乾燥調整技術の検討 市販穀物乾燥機、大豆選別機を改良導入。 飼料適性試験 搾油後の搾り粕について飼料への適性を検討。 燃焼実験 ボイラー燃料としての利用の可能性を検討。 プロジェクト活動 宮崎県エネルギー作物研究会で進行管理を行う。
	新たな産学官連携プロジェクトの創設	(農政企画課)	大学や県内企業とのマッチングを推進	アドバイザーを活用した企業・大学等とのマッチングを実施 新たなプロジェクトの設置	昨年マッチングを試みた課題の進捗管理 新たな手法の検討	

地球温暖化対応産地構造改革モデル事業 平成21年度取組状況

B: 短期的対策

大分類	中分類	小分類	(実施担当課)	20年度の成果	21年度の具体的な成果目標	21年度実績
温暖化対応経営の実証	耕種部門	飼料米試験	(農産園芸課)	本県に適した飼料用米の実証試験を実施	品種「モミロマン」を用いた低コスト栽培試験の実施 直播栽培や疎植栽培、立毛乾燥技術の検討など低コスト生産に向けた技術実証	展示ほ設置状況 ・綾町20a 木城町20a (疎植栽培試験+立毛乾燥栽培試験) ・日南市20a 都城市20a (乾田直播栽培試験+立毛乾燥栽培試験) ・日向市20a (湛水直播栽培試験+立毛乾燥栽培試験) 参考 平成21年度飼料用米作付状況 作付面積 134.7ha(前年度 73.9ha)
		園芸課題解決	(農産園芸課)	花き類の高温対策技術の実証試験ほを設置	スイートピーの高温多湿条件で多発する灰色かび病を防止するための簡易除湿装置の実証ほの設置 ハウス完熟きんかんにおける遮光資材を用いた果実肥大促進に対する効果実証ほの設置	展示ほ設置状況(6ヵ所:成果取りまとめ中) ・スイートピー ミスト灌水装置による昇温抑制効果確認(川南町) 灰色カビ病防止効果確認(三股町、西都市、高千穂町) ヒートポンプによる品質向上効果確認(日南市) ・きんかん 遮光資材活用による昇温抑制効果確認(日南市)
	畜産部門	サンシャイン牛舎	(畜産課)	サンシャイン牛舎普及のための実証試験ほを設置	肉用牛繁殖経営を行うための施設等で、温暖化対応効果の期待できる簡易牛舎 (継続) (通称:サンシャイン牛舎)の設置 県内 5棟(予定)	3JA管内で、10ヵ所設置
	水産部門	浮沈式いけす	(漁港漁場整備課)	県北地域における浮沈式いけすの実証試験ほを設置	(平成20年度で終了)	(平成20年度で終了)
温暖化要因抑制対策	耕種部門	脱石油型の暖房機実証	(農産園芸課)	ヒートポンプ普及に向けた実証ほを設置	木質ペレット加温機の実証(新規) 5地区でのヒートポンプの実証(継続) 各地区にあった使用方法等の検討。	ヒートポンプの実証については、21年4月に中間検討会を開催。9月に20年度の実績検討会を開催。21年度は、西諸県地区で木質ペレット加温機の導入実証。
			(畜産課)	「バイオマス利活用プロジェクト」と同様	「バイオマス利活用プロジェクト」と同様	「バイオマス利活用プロジェクト」と同様
		BD燃料サイクルの構築	(地域農業推進課)	「エネルギー作物プロジェクト」と同様	「エネルギー作物プロジェクト」と同様	「エネルギー作物プロジェクト」と同様
	畜産部門	耕畜連携型の糞尿処理施設	(畜産課)	耕畜連携型の糞尿処理施設を整備	(継続) 家畜排せつ物処理施設の整備 16地区(7市町村) 自己完結型 5地区 耕畜連携型 11地区 家畜排せつ物処理施設等の整備による完熟たい肥の生産とともに散布機械導入による適切なたい肥施用量の増加	家畜排せつ物処理施設の整備 19地区(6市町村) 自己完結型 10地区 耕畜連携型 9地区